

(編入学)

平成25年度 入学試験問題

小論文

(農学生命科学部 生物学科)

【注意事項】

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いて見てはならない。
2. 印刷の不鮮明な箇所等がある場合には、申し出ること。
3. 解答用紙（罫線が茶色のもの）2枚と下書き用紙（罫線が黒色のもの）2枚を別に配付してあるの
で確認すること。
4. 解答は、解答用紙に記入すること。解答用紙以外に記入したものは無効である。
5. 解答用紙の一つのます目に一文字ずつ入れること。
6. 解答用紙の指定された欄に、学部名及び受験番号を記入すること。
7. 配付された解答用紙は、持ち帰らないこと。
8. 配付された問題冊子及び下書き用紙は、持ち帰ること。

平成25年度弘前大学農学生命科学部編入学試験
生物学科 試験問題 (小論文)

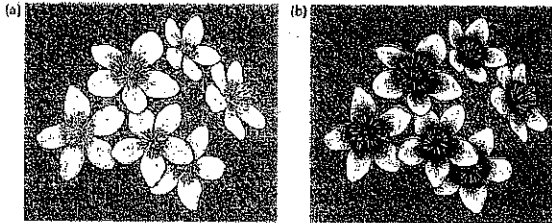
問題1と問題2は、それぞれ別の解答用紙を使用すること。

問題1. あなたが生物学科で行いたいと考えている研究について、その目的や対象となる生物、研究の方法について800字程度で述べなさい。

問題2. 以下の文章を読み、問いに答えよ。

著作権の関係上、省略します。

(G.K.H. Zupanc 「行動の神経生物学」より改変して抜粋。)



(図) ミツバチは紫外線を見ることができ、エサを集めるのにこの能力を使う。蜜のありかを知らせるミツオシエと呼ばれる印(b)が花卉についている花があり、これは紫外線によってしか見えない。ヒトにはミツオシエが見えない(a)。

問1 下線部について、花が得る利益とハチが得る利益をそれぞれ説明せよ(200字以内)。

問2 本文中に挙げられているもの以外で、「生物間コミュニケーション」にあてはまる例を一つ挙げ、解説せよ。その際、何が信号か、送信者と受信者は何か、双方が受ける利益は何かについてそれぞれ明確に述べること(500字以内)。